

Increase in Sickness Insurance Expenditure on Medical Care, ISSA/XVIII/Mse/4 (2)The Relationship between Trends in Health Expenditure and the Type of Organisation of Health Care: Guidelines for the Preparation of National Monographs, ISSA/MSXVI/1 (3)Volume and Cost of Medical Care, ISSA/MSXVI/2 などがある。

さらに、OECDは、経済政策委員会第2作業班において、資源配分および政府支出の諸問題に関するプロジェクトの一環として、加盟各国の医療費（とくに公的医療費）の動向、医療費の増大要因などについて分析し、Public Expenditure on Health, July 1977. と題する報告書を公表している。



社会保障こぼれ話

健康保険の採用計画

（イスラエル）

この国には、労働組合総同盟が任意制の健康保険制度を実施してきた。その後、公的な制度として出産時に現金給付を支給する母性保険が採用されたが、いわゆる健康保険は実施されていなかった。したがって、包括的な健康保険制度の採用が、長年にわたり検討されていた。その検討は最終段階に入り、法案を作成し、制度を実施に移す用意が備った。

計画では、その健康保険は自治的な疾病基金を組織し、制度を実施するいわゆる組合方式が考えられている。この方法は既存のそのような組合が、独自の立場で開発した病院などの医療施設、各種の医療担者などをそのまま活用して、制度を運営することが企図されている。

計画では、制度は各保険者に対して、被保険者に所定の給付を提供することを強制することになっている。それに対して、入院を含む各種の活動について、各地方で提供される診療活動に調整、合理化、および経済性などが保証されることになっている。

医療は医療施設の所有者に関係なく、各地方で制度に組入れられ、各地方の診療活動を調整するためにそのような活動の担当機関が設けられる。

保険の保険料や提供される診療は政府の承認を条件とされ、政府は各疾病基金の財政を監督し、診療活動も政府の監督をうけることになる。制度の運営で生じた紛争は、従来の方法を変えて、労働裁判所で取扱われる。

この計画には、各方面から法案の基本原則について、色いろな批判が寄せられたが、結論として、制度は保健サービスの改善、節約、効率化、および監督をもたらすであろうということになっている。

ISSA, Asian News Sheet, Vol. VIII, No. 1. Jan. 1978.
New Delhi, P.8.

（社会保障研究所 平石長久）